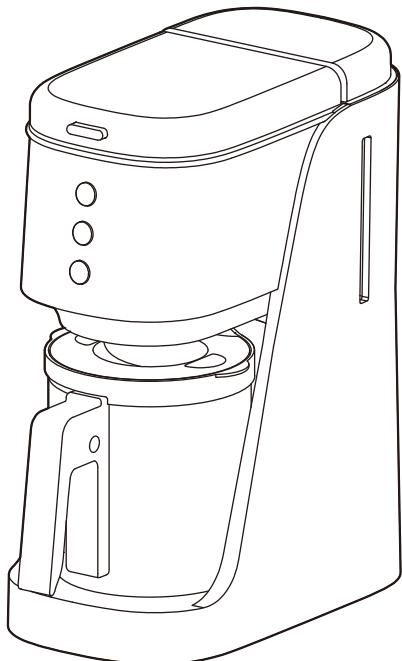


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

ハイブリッドコーヒーメーカー

YCB-720



もくじ

■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5
■ 使いかた	
● 水タンクに水を入れる	6
● ドリッパーを取り外す	6
● コーヒー粉を入れる	7
● ドリッパーをセットする	8
● ステンレスマグをセットする	8
● 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	9
● コーヒーをドリップする	9
● コーヒーを注ぐ または 直接飲む	10
● クリーンモードを使用する	10
● 使用後は	11
■ お手入れと保管	11~16
■ 仕様	17
■ 故障かな?と思ったら	17~18
■ 点検のお願い	18
■ アフターサービスについて	18
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社コーヒーメーカーをお買上げいただき誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を
チェック!



随时情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用者の人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

! **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡 または 重傷を負うことが想定される内容を示しています。

! **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 ◎記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

 ◎記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用者人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

!

警告

■ 電源コード・電源プラグについて

 電源プラグは、根元まで確実に 真っ直ぐ差し込む ●発熱・感電・火災の原因になります。 ◎斜めに差し込まない。 指示に従う	 家庭用コンセント (AC 100V、定格 15A以上) を単独で使用する ●家庭用コンセント (AC100V) 以外で 使用すると、誤作動・故障の原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える 使いかた（タコ足配線など）をすると、 異常発熱・火災の原因になります。 指示に従う
 電源コードや電源プラグが傷んで いたり、電源プラグの差し込みが ゆるいときは、使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。 禁止	 定期的に電源プラグのホコリをふき 取る ●ホコリがたまると、湿気によって絶縁 不良となり、ショート・感電・火災の 原因になります。 ●ホコリは、乾いたふきんでふき取る。 指示に従う
 本体、電源コード、電源プラグに破損、 故障、異常があったり、異常に熱く なるときは、直ちに使用を中止する ●やけど・感電・火災の原因になります。 ※故障・異常例 18ページの「点検のお願い こんな 症状はありませんか？」を参照して異常 があるときは、直ちに使用を中止する。 必ず電源プラグをコンセントから抜き、 お買上げの販売店に点検や修理を依頼 してください。	 電源コードや電源プラグを傷付け たり、破損させたり、加工したり、 熱器具に近づけたり、無理に曲げ たり、ねじったり、引っ張ったり、巻き 付けたり、たばねて使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ●必ず結束バンドを外して、電源コード をのばす。 禁止
 電源コードの上に、本体や物を 載せたり、挟み込まない ●ショート・感電・火災の原因になります。 禁止	 電源コードを引っ掛けないように 注意する ●転倒や落下して、故障・けが・やけど の原因になります。 指示に従う
 使用しないときは、電源プラグを コンセントから抜く ●感電・漏電火災の原因になります。 プラグを抜く	

⚠ 警告

■ 設置について



禁止

可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない

- 爆発・火災の原因になります。



禁止

熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上や燃えやすい物（カーテンや新聞紙など）が周辺にある場所に設置しない

- 変色・発煙・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水がかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



設置場所や設置のしかたには、十分注意する

指示に従う

●下記のような設置をすると、不意に本体に接触したり、電源コードを引っ掛けたり、引っ張ったとして本体が転倒し、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。

○床（フローリング、畳、じゅうたん）に直置きしない。

○設置する台（テーブルやキッチンカウンターなど）から、電源コードを垂らさない。

○人が通る場所に電源コードを這わせない。



安定した水平なテーブルや台の上に設置する

指示に従う

●転倒や落下して、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。

○傾いた場所や不安定な場所に設置しない。

■ 使用について



分解禁止

分解、修理、改造をしない

- やけど・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。



禁止

子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない

乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

●けが・やけど・感電の原因になります。



禁止

電源プラグ、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない

- ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

最大カップ数の水位目盛り以上水を入れない

●とくにホットコーヒーのときは、お湯が吹きこぼれて、やけどの原因になります。



禁止

水以外の物を水タンクに入れてドリップしない

- 水以外の物（お茶、ティーバッグ、牛乳、酒、スープなど）を入れてドリップすると、焦げつき・腐食・故障・吹きこぼれてやけどの原因になります。



禁止

本体をゆらしたり、転倒させない

●水やお湯がこぼれて、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。



禁止

空焚きをしない

- 故障・やけど・火災の原因になります。
- 水を入れていない状態で、ホットボタンやクリーンボタンを押さない。
- 万が一空焚きしてしまったときは、水タンクに水を入れて冷やさない。急激に蒸発してお湯が飛び散ったり、蒸気が出て危険です。



禁止

ホットコーヒーのドリップ中やドリップ後しばらくは、給湯ふたや水タンクふたをあけない

●お湯が飛び散ったり、吹きこぼれたり、蒸気に触れて、やけどの原因になります。

○とくに乳幼児には、触らせないように注意する。

○水タンクふたをあけたままドリップしたり、ドリップ中に水タンクふたをあけて、水を足さない。

⚠ 警告

■ 使用について つづき



接触禁止

ホットコーヒーのドリップ中やドリップ後しばらくは、ステンレスマグの金属部や本体のドリップ口に手や顔を近づけたり、触れない

- 蒸気、湯滴、高温部に触れて、やけどの原因になります。
- ◎とくに乳幼児には、触らせないように注意する。
- ◎ステンレスマグを持つときは、取っ手を持つ。



指示に従う

本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう

- ショート・やけど・感電の原因になります。
- ◎十分冷めるまで、持ち運ばない。
- ◎持ち運ぶときは、水タンクの水を排水して、ステンレスマグを取り外してからおこなう。

■ お手入れ・保管について



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- ショート・やけど・感電の原因になります。
- ◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電の原因になります。



本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- ショート・感電・火災の原因になります。



お手入れのときは、十分冷めてからおこなう

- やけどの原因になります。



各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない

- 本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。
- 変色・破損の原因になります。



包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。

⚠ 注意

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く

- ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎電源コードを引っ張って抜かない。



電源コードを持って本体を引っ張らない

- 設置場所が傷付いたり、本体が転倒して、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。

■ 設置について



禁止

油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない

- 変形・故障・感電・火災の原因になります。



禁止

直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所に設置しない

- 変色・変形・火災の原因になります。



禁止

屋外に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

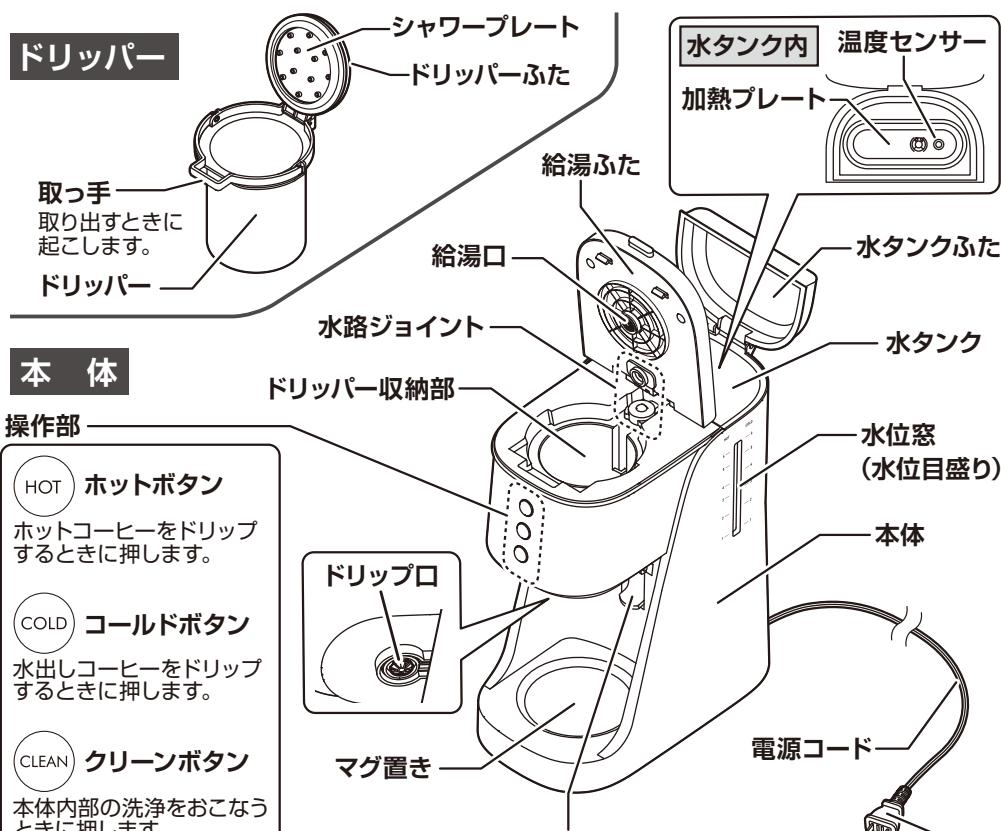
■ 使用について

 業務用に使用しない ●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。 禁止 指示に従う	 動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する ●本体や電源コードを傷め、ショート・感電・火災の原因になります。 指示に従う
 壁、家具、キッチン棚に蒸気があたらないように注意する ●壁、家具、キッチン棚が変色したり、傷める原因になります。 禁止 指示に従う	 コーヒーやお茶をドリップする以外の用途で使用しない ●故障・やけどの原因になります。 禁止
 ステンレスマグを直火にかけたり、電磁調理器（IHクッキングヒーター）、電気コンロ、電子レンジで使用しない ●変形・やけど・火災の原因になります。 禁止	 必ず付属のステンレスマグを使用してドリップする ●付属のステンレスマグ以外の物を使用するとドリップできなかつたり、コーヒーがあふれる原因になります。 指示に従う
 ホットコーヒーをドリップしたときは、ステンレスマグを熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上に置かない ●敷物（テーブルクロスなど）が、変色・変形する原因になります。 禁止 指示に従う	 ドリップ中は、その場を離れない ●ステンレスマグからコーヒーがあふれると、設置した台がぬれたり、汚れる原因になります。 禁止
 長時間使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておく ●極端に長い時間水を入れたままにしておくと、カビや雑菌が繁殖して異臭の原因になります。 禁止 指示に従う	 落としたり、強い衝撃を与えない ●破損・故障・けがの原因になります。 禁止
	 持ち運ぶときは、本体をしっかりと持っておこなう ●破損・故障・けがの原因になります。 指示に従う

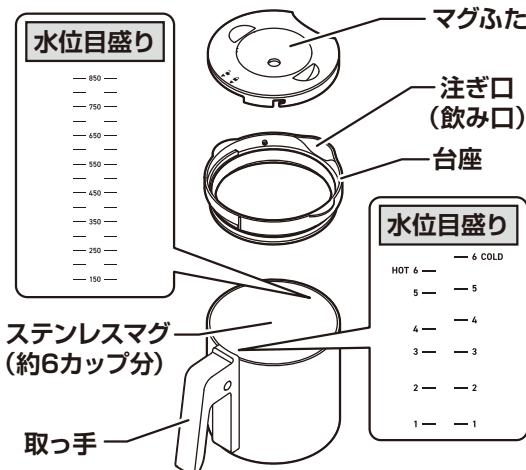
■ お手入れ・保管について

 お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない ●変色・傷・破損の原因になります。 ●お手入れは、11~16ページの「お手入れと保管」を参照する。 ●傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしない。 禁止	 電源プラグの汚れは、乾いたやわらかいふきんでふき取る ●ショート・感電の原因になります。 ●ぬれたふきんでふかない。 指示に従う
	 お手入れは、こまめにおこなう ●水アカが付着したり、異臭の原因になります。 ●常に清潔に保つ。 指示に従う

各部の名称



ステンレスマグ



付属品

ドリッパー × 2個

1個は、最初から本体にセットされており、もう1個別で付属します。
コーヒー やお茶などの使い分けに使用いただけます。



計量スプーン

コーヒー粉を入れるときに使用します。

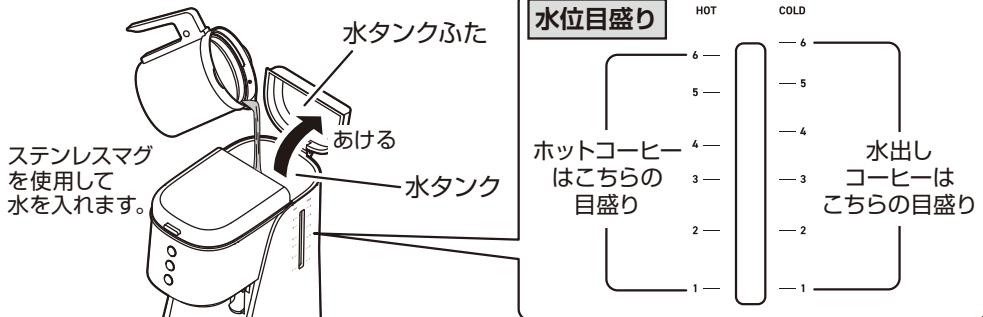


●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

使いかた

水タンクに水を入れる

- 水タンクふたをあけます。
- カップ数分の水位目盛りまで、ステンレスマグを使用して水タンクに水を入れます。
- 水タンクふたをしめます。



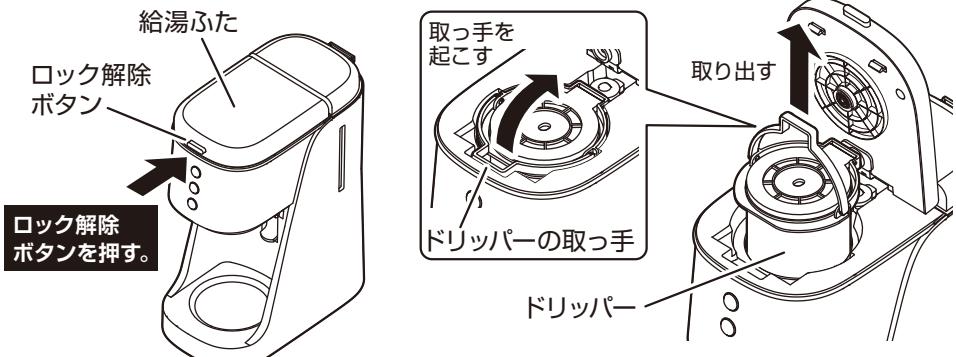
カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ	6カップ
水タンク水量 (HOT)	150mL	300mL	450mL	550mL	700mL	800mL
水タンク水量 (COLD) (水出し)	150mL	300mL	450mL	580mL	720mL	850mL

お知らせ

- 水出しコーヒーは、お好みで常温のコーヒーや冷たいコーヒーどちらでもドリップできます。
冷たいコーヒーをドリップしたいときは、冷たい水を水タンクに入れてドリップします。
◎できあがったコーヒーを冷やしたいときは、ステンレスマグに氷を入れたり、冷蔵庫で冷やします。
- 水タンクに氷を入れてドリップしても、ドリップ中に水が冷えなかったり、氷が溶けきらずに残ります。

ドリッパーを取り外す

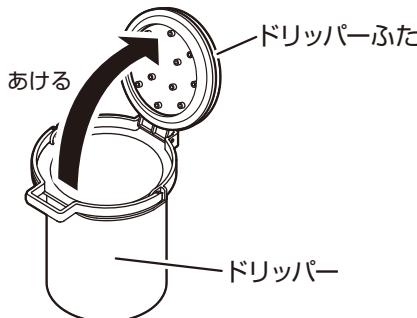
- ロック解除ボタンを押して、給湯ふたをあけます。
- ドリッパーの取っ手を起こして、ドリッパーを本体から取り出します。



使いかた

コーヒー粉を入れる

- ドリッパーふたをあけます。
- 下記のコーヒー粉の分量を目安に、カップ数分のコーヒー粉を付属の計量スプーンを使用してドリッパーに入れます。
- ドリッパーふたをしめます。



ホットコーヒー コーヒー粉の分量

使用粉: 中挽き

ホットコーヒーは、中挽きのコーヒー粉でドリップしてください。

カップ数	コーヒー粉
1カップ	2杯 (約8g)
2カップ	3杯 (約12g)
3カップ	4杯 (約16g)
4カップ	5杯 (約20g)
5カップ	6杯 (約24g)
6カップ	7杯 (約28g)

- 付属の計量スプーンすり切りで2~7杯
- ドリップ量: 1カップ 約120mL

※コーヒー粉の分量は目安ですので、お好みに合わせて調節してください。

- ドリップされるコーヒーの量は、水タンクに入れた水量より少なくなります。

注意

※ホットコーヒーでは計量スプーン7杯、水出しコーヒーでは計量スプーン12杯以上のコーヒー粉を入れないでください。

コーヒー粉を入れすぎると、ドリッパーからコーヒーや粉があふれる原因になります。

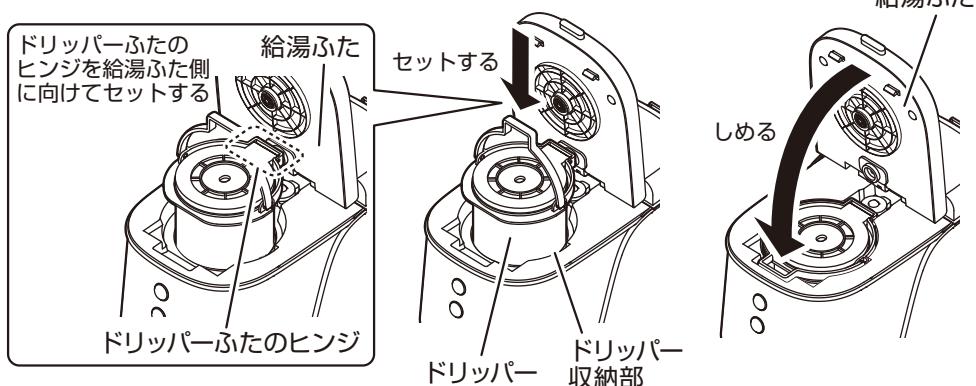
お知らせ

- ドリッパーにお茶の葉や紅茶の葉を入れて、お茶や紅茶をドリップすることもできます。

使いかた

ドリッパーをセットする

- ドリッパーふたのヒンジを給湯ふた側に向けて、本体のドリッパー収納部にセットします。逆向きにセットすると、給湯ふたがしまらなくなります。
- 給湯ふたをしめます。



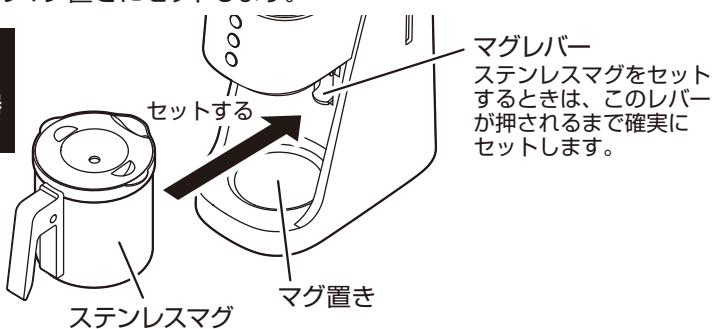
お知らせ

- 給湯ふたがあいた状態で操作部のボタンを押しても、すべてのボタンが点滅して動作しません。
給湯ふたをしめるとボタン操作の受け付けが可能になります。

ステンレスマグをセットする

- ステンレスマグを本体のマグ置きにセットします。

必ず付属のステンレスマグをセットする。
コーヒーカップや他の容器をセットしない。



お知らせ

- ステンレスマグが確実にセットされていなかったり、付属のステンレスマグ以外の物をセットするとマグレバーが押されず操作部のボタンを押しても、すべてのボタンが点滅して動作しません。
マグレバーが押されるとボタン操作の受け付けが可能になり、ドリップ口が開いてドリップできるようになります。

使いかた

電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。
- 電源が入り、すべてのボタンが点滅したあと消灯して待機状態になります。

△警告



- 家庭用コンセント (AC100V、定格15A以上) を単独で使用する
- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
 - コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。

必ず結束バンドを外して、
電源コードをのばす。
電源プラグをコンセントに
真っ直ぐ差し込む。

コーヒーをドリップする

ホットコーヒーをドリップするときは



- ホットボタンを押します。
- ホットボタンが点滅して、水タンクの水が加熱されます。
 - 水タンクに水が入っていない状態でボタンを押すと、途中で加熱が停止してドリップできません。
※このとき加熱プレートが熱くなっているため、水タンクに水を入れると急激に蒸発してお湯が飛び散ったり、蒸気でやけどをする原因になりますので、十分冷めてから水を入れてください。
- 加熱が終わると、ドリップを開始します。
 - 水を加熱してからドリップするため、ドリップが開始されるまで多少時間がかかります。
- ドリップが終わると、すべてのボタンが一度点灯したあと消灯して停止します。
- ドリップを途中で停止したいときは、ドリップ中にホットボタンを押します。
もう一度ホットボタンを押すと、残りのドリップを再開します。

水出しコーヒー (コールドブリュー) をドリップするときは



- コールドボタンを押します。
- コールドボタンが点滅して、ドリップを開始します。
 - 水出しコーヒーは、自動的に水を出したり、止めたりしながらドリップします。
 - 水タンクに水が入っていない状態でボタンを押すと、途中でポンプ動作が停止してドリップできません。
- ドリップが終わると、すべてのボタンが一度点灯したあと消灯して停止します。
- ドリップを途中で停止したいときは、ドリップ中にコールドボタンを押します。
もう一度コールドボタンを押すと、残りのドリップを再開します。

注意

- ※ドリップ中にステンレスマグを取り外さないでください。
ステンレスマグを取り外すときは、ボタンを押してドリップを停止してください。
ドリップ中にステンレスマグを取り外すとコーヒーが滴下することがあり、手を近づけるとやけどの原因になります。

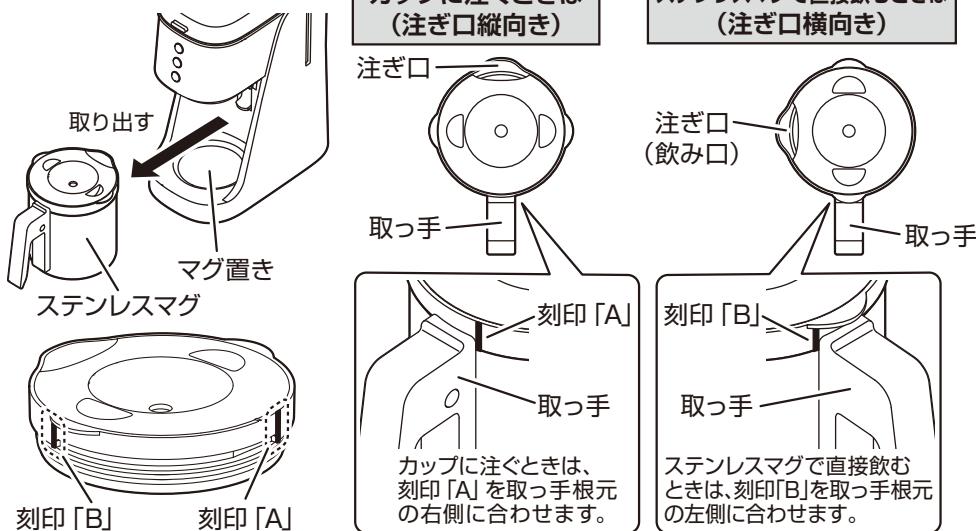
お知らせ

- ドリップ中に給湯ふたをあけたり、ステンレスマグを取り外すと、すべてのボタンが点滅してドリップが停止します。

使いかた

コーヒーを注ぐ または 直接飲む

- ドリップが終わったら、ステンレスマグを取り出します。
- コーヒーをカップに注いだり、注ぎ口の向きをかえてステンレスマグで直接飲むことができます。



クリーンモードを使用する

※本体内部、加熱プレート、水タンクに水アカ汚れやカルキ汚れが固着する前に、下記の手順でクリーンモードを使用して、定期的にお手入れをしてください。

汚れが固着するとお湯の出が悪くなったり、お湯からにおいがすることがあります。

- クエン酸 5g と水 800mL を混ぜてから、水タンクに入れます。
- ※お手持ちの容器でクエン酸を水に溶かしてから、水タンクに入れてください。
水タンクで直接混ぜないでください。
- ステンレスマグを本体のマグ置きにセットします。(ドリッパーは使用しません)
- クリーンボタンを押します。

- クリーンボタンが点滅して、水タンクの水をあたためてから洗浄を開始します。
- 洗浄が終わると、すべてのボタンが一度点灯したあと消灯して停止します。
※洗浄は途中で停止しないでください。
途中で停止すると、本体内部にクエン酸を溶かしたお湯が残りますのでクリーンモードが停止するまで、お湯を出し切ってください。

- ステンレスマグにたまつたお湯を捨てます。
- クエン酸のにおいが気になるときは、水タンクに水のみを入れてクリーンモードを数回くり返します。



使いかた

使用後は

- 電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 本体が十分冷めてから、11~16ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。

電源プラグを
コンセントから
真っ直ぐ抜く。



お手入れと保管

コーヒーメーカーは、飲み物に使用する機器のため、使用後はお手入れをしていつも清潔な状態にします。

※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

△警告

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●ショート・やけど・感電の原因になります。
プラグを抜く ◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

お手入れのときは、十分冷めてからおこなう
指示に従う
●やけどの原因になります。

必ずお守りください

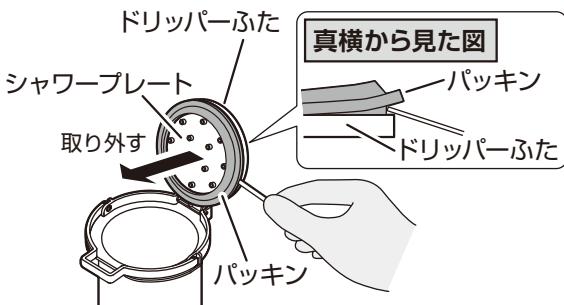
※各部品を取り外したり、お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなってください。

ドリッパー

丸洗いできます

パッキンとシャワープレートの取り外し

- 先が平たくなった薄い物を使用してパッキンを浮かせ、パッキンをつまんでシャワープレートごとドリッパーふたから取り外します。
パッキンをドリッパーふたから取り外すと、シャワープレートも一緒に外れます。
- パッキンをシャワープレートから取り外します。
※パッキンとシャワープレートを取り外すときは、
鋭利な物を使用しないでください。
パッキンが破損する原因になります。



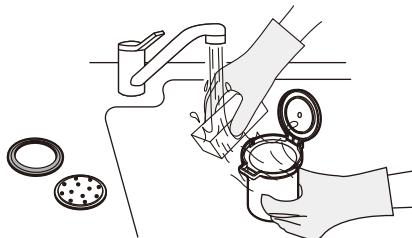
お手入れと保管

ドリッパー つづき

丸洗いできます

ドリッパー、シャワープレート、パッキンのお手入れ

- 食器用中性洗剤をやわらかいスponジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

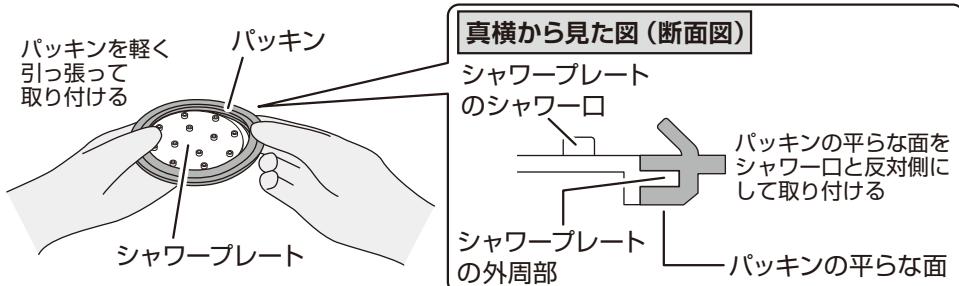


注意

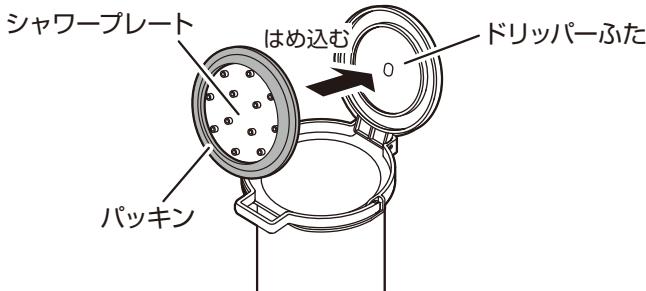
※ドリッパーは、やさしくお手入れしてください。
乱暴にお手入れすると、ドリッパー底部のフィルターが破れる原因になります。

パッキンとシャワープレートの取り付け

- パッキンをシャワープレートの外周部に取り付けます。



- 組み立てたパッキンとシャワープレートをドリッパーふたに取り付けます。
- 組み立てたパッキンとシャワープレートを取り付けるときは、パッキンをドリッパーふたに押し込むと、一緒に取り付けられます。



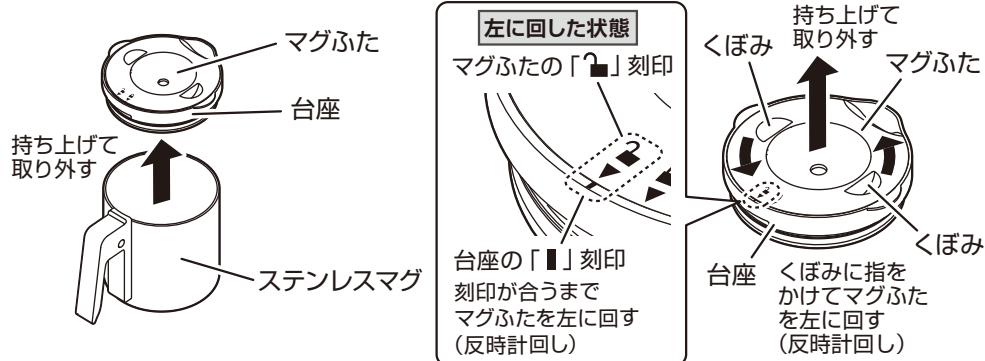
お手入れと保管

ステンレスマグ

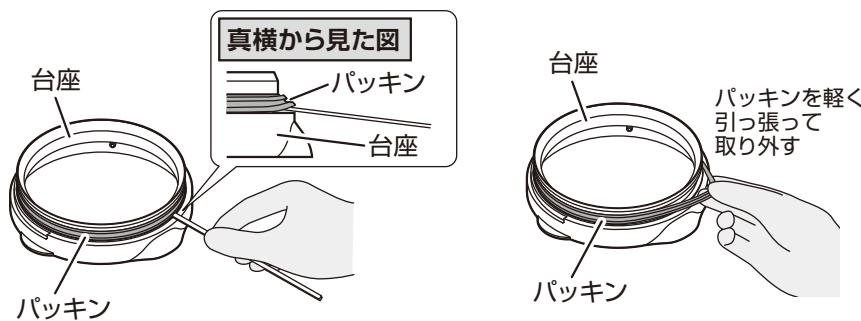
丸洗いできます

台座、マグふた、パッキンの取り外し

- 台座を持ち上げて、マグふたごと台座をステンレスマグから取り外します。
- マグふたの「?」刻印が台座の「I」刻印に合うまで、マグふたを左に回して取り外します。

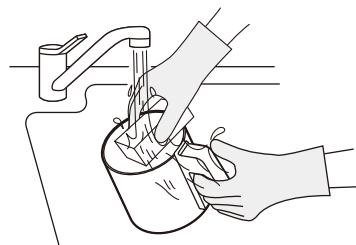


- 台座を上下逆さまにして、先が平たくなった薄い物を使用してパッキンを浮かせ、パッキンをつまんで取り外します。
※パッキンを取り外すときは、鋭利な物を使用しないでください。
パッキンが破損する原因になります。



ステンレスマグ、台座、マグふた、パッキンのお手入れ

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



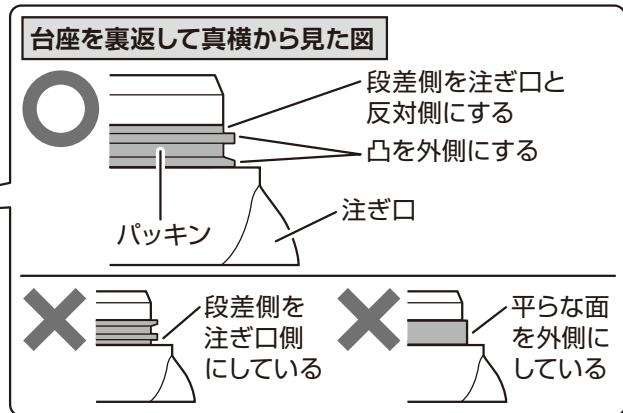
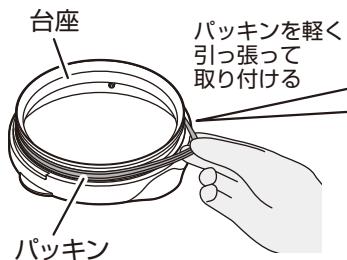
お手入れと保管

ステンレスマグ つづき

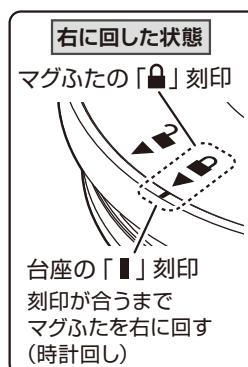
丸洗いできます

パッキン、マグふた、台座の取り付け

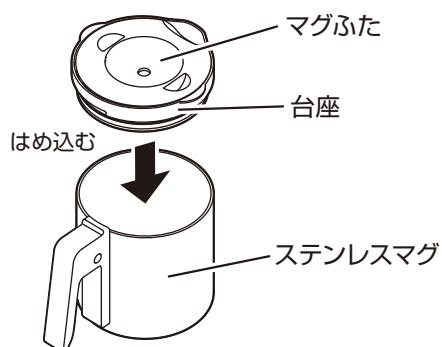
- パッキンを台座に取り付けます。



- マグふたの「■」刻印を台座の「|」刻印に合わせて、マグふたをかぶせます。
- マグふたの「■」刻印が台座の「|」刻印に合うまで、マグふたを右に回して取り付けます。



- 組み立てたマグふたと台座をステンレスマグにはめ込みます。



お手入れと保管

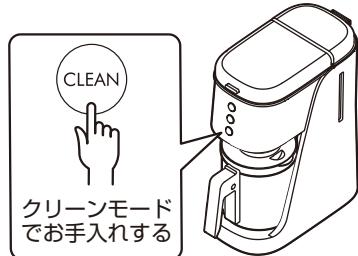
本体内部、水タンク

丸洗いできません

※本体内部、加熱プレート、水タンクに水アカ汚れやカルキ汚れが固着する前に、10ページの「クリーンモードを使用する」を参照して、定期的にお手入れをしてください。
汚れが固着するとお湯の出が悪くなったり、お湯からにおいがすることがあります。

本体内部のお手入れ

- 10ページの「クリーンモードを使用する」を参照して、お手入れします。
※クリーンモードでお手入れしたあと、
加熱プレートと水タンクのお手入れを
してください。

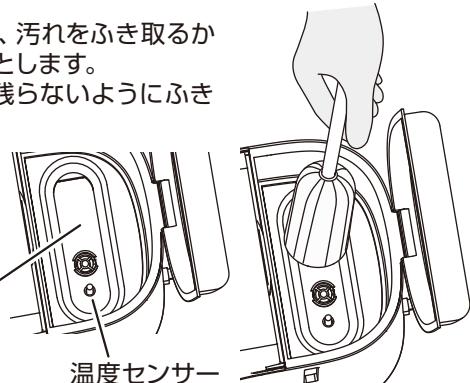


加熱プレートのお手入れ

- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取るか
コップ洗い用スポンジを使用して汚れを落とします。
さらに乾いたやわらかいふきんで、水分が残らないようにふき
取り、よく乾燥させます。

加熱プレートにある温度センサーに
強い力や衝撃を与えると、故障（温度
を感知できないなど）の原因になります
ので、十分注意してお手入れする。

加熱プレート

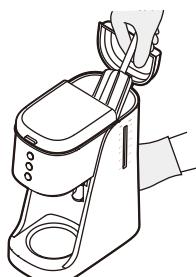


注意

- ※加熱プレートは、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類の
傷が付きやすい物やかたい物でこすらないでください。
加熱プレートの表面に傷が付き、故障・腐食の原因になります。

水タンクのお手入れ

- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取るか
コップ洗い用スポンジを使用して汚れを落とします。
さらに乾いたやわらかいふきんで、水分が残らないようにふき
取り、よく乾燥させます。



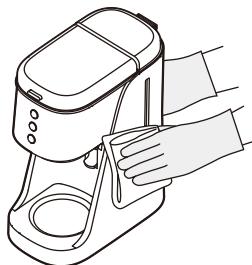
お手入れと保管

本体

丸洗いできません

本体外側のお手入れ

- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
※操作部は、ぬれたふきんでふかないでください。



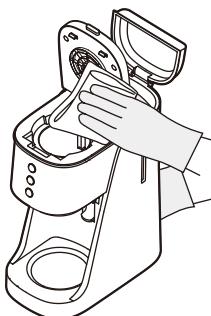
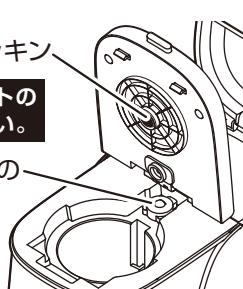
給湯ふた、ドリッパー収納部のお手入れ

- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
※給湯口と水路ジョイントのパッキンは、取り外してお手入れしないでください。
取り外すとともにどせなくなります。

給湯口のパッキン

給湯口と水路ジョイントの
パッキンは取り外さない。

水路ジョイントの
パッキン



保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕様

電 源	AC100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	1000W
製 品 寸 法(約)	給湯ふたを閉じた状態 幅:145mm×奥行:285mm×高さ:315mm
	給湯ふたを開けた状態 幅:145mm×奥行:285mm×高さ:460mm
製 品 質 量(約)	2.0kg (ステンレスマグ含む)
コ ー ド 長(約)	1.0m
水タンク満水容量	850mL (ホット:6カップ 800mL 水出し:6カップ 850mL)
方 式	ドリップ式
安 全 機 能	渴水検知、給湯ふた開閉検知、ステンレスマグ有無検知
安 全 装 置	温度過昇防止装置:温度ヒューズ、サーモスタート

- 製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品寸法の奥行については、ステンレスマグの取っ手を本体正面に向けた状態の寸法で、取っ手の向きによって寸法がかわります。
また製品本体側の電源コード根元部は、寸法に含んでいません。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
ボタンを押しても ドリップしない	●給湯ふたがあいていませんか？	●給湯ふたがあいた状態で操作部のボタンを押しても、すべてのボタンが点滅して動作しません。 給湯ふたをしめるとボタン操作の受け付けが可能になります。
	●ステンレスマグが確実にセットされていなかったり、付属のステンレスマグ以外の物をセットしていませんか？	●ステンレスマグが確実にセットされていなかったり、付属のステンレスマグ以外の物をセットするとマグレバーが押されず操作部のボタンを押しても、すべてのボタンが点滅して動作しません。 マグレバーが押されるとボタン操作の受け付けが可能になり、ドリップ口が開いてドリップできるようになります。
	●ホットコーヒーをドリップしていませんか？	●水を加熱してからドリップするため、コーヒーが出てくるまで多少時間がかかります。
ドリッパーから コーヒーや粉があふれる	●コーヒー粉を入れすぎていませんか？	●ホットコーヒーでは計量スプーン7杯、水出しコーヒーでは計量スプーン12杯以上、コーヒー粉を入れないでください。 コーヒー粉を入れすぎると、ドリッパーからコーヒーや粉があふれる原因になります。
水出しコーヒーが 冷たくない	●水出しコーヒーは、お好みで常温のコーヒーや冷たいコーヒーどちらでもドリップできます。 冷たいコーヒーをドリップしたいときは、冷たい水を水タンクに入れてドリップします。 ○できあがったコーヒーを冷やしたいときは、ステンレスマグに氷を入れたり、冷蔵庫で冷やします。	

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
コーヒーから異臭がする	●本体内部のお手入れを長期間しないで使用していませんか？	●10ページの「クリーンモードを使用する」を参照して、お手入れしてください。
	●樹脂部品が熱せられることで樹脂特有のにおいがすることがあります。	●はじめて使用するときは、樹脂特有のにおいがすることがあります、使用にともないにおいが少くなります。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- 電源プラグが変形している。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 水漏れする。
- 変形や破損している。
- 異常な音がする。
- 製品に触るとピリピリと電気を感じる。
- 製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- その他の故障・異常・破損がある。
- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセント
から抜いて、必ず販売店
に点検や修理を依頼して
ください。

ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- 本製品は、保証書が付いています。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の
「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を
受けてください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年です。
保証期間中の修理は、お買上げの販売店に
依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

- 保証期間経過後の修理（有料）については、
お買上げの販売店に、依頼してください。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、
製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために、必要な部品です。
- サービスパーツについて
ドリッパーなどのサービスパーツについては、
お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法の
お問い合わせ、転居されたり贈答品などで、
販売店に修理の依頼ができない場合は、**ナビダイヤル 0570-077-078**
右記へお問い合わせください。

FAXまたはEメールでのお問い合わせも
受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ
内容、お名前、電話番号を記入のうえ、
お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせ番号 **0120-680-287**

●メールでのお問い合わせは **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報の取扱について
株式会社 山善およびその関係会社は、
お客様の個人情報やお問い合わせ
内容を、お問い合わせへの対応や
修理、その確認などのために利用し、
その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理
業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者には
提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。